



西村 あつ子

教育行政について

問 特別支援教室モデル事業の検証で泊江市の果たす役割は重要だ。東京都に対してどのような意見をあげていくのか。

答 本市の実施体制を平成28年度以降も継続していくことと児童数に応じた教員配置について都に申し入れていくことを検討。

公立保育園の民営化について

問 運営法人公募要項の素案の説明会は来年度の入所予定者にも案内し、ガイドラインも配布すべき。

答 ①保護者の考えや働き方によって選べる体制をとっている。今後も、各事業の良さを生かしていく。②学童保育所での高学年の役割など現在検討している。

子育て支援について

問 入所予定者にも3月に実施する説明会の案内と策定したガイドラインを送付する。

答 ①各学童クラブの役割と今後の運営。②定員割れしている学童の4年生の受け入れについての検討状況。



田中 智子

市民センターは改修のみでなく増改築の検討を

問 ①市民センター耐震診断の結果。②現計画では充実とは程遠い。増改築などの検討を。③利用団体からの意見を聞くべき。

答 ①I s値は0.81。②費用面や工期等も視野に入れ、耐震診断の結果を受け改修とした。③実施設計の中で可能な意見は聞く。

公契約条例の制定に向けて

問 ①建設労働者の実態についての認識②泊江の実際の賃金や労働実態調査をすべき③実態把握を含め

答 ①イベント・窓口回収の継続、粗大ごみの中から資源化予定②他市のよい部分は参考にしたい③これまで同様の処理が適当。

さらなるごみ減量対策を

問 ①使用済小型家電資源化の来年度の計画は②生ごみの減量に向け手軽で簡易な方法の検討を③プラスチックごみの分別収集を

答 ①I s値は0.81。②費用面や工期等も視野に入れ、耐震診断の結果を受け改修とした。③実施設計の中で可能な意見は聞く。



鈴木 えつお

所信表明は事実に基づき正確な表現で

問 ①来年度の公債費減は長年の努力で借金返済が順次終わるからでは②公債費の見直しは③新図書館はどこで具体化されるのか

答 ①額では平成5年度借り入れ償還が終わるから②27年度約23億円、28年度20億円③改修を機能的に行うことが最善の方策。

ぜん息患者への部の医療費助成制度の継続を

問 ①医療費助成の申請者数の推移は②小学生の罹患率の推移は③この大気汚染医療費助成制度の継続

答 ①認定患者数は平成26年1月現在、678名。②平成19年度7.6%、平成24年度9.8%。③今後とも制度の継続を訴える。

のびのび遊べる公園の増設、バス路線の改善を

問 ①借地による公園増設を②減便された渋谷行バスを調布に延伸を③和泉多摩川郵便局前にバス停を

答 ①市の施設全体のバランスなどを十分精査し適切に対応②小田急バスに協議③バス事業者とも今後検討④事業者へ申し入れる。

総務文教常任委員会報告

総務文教常任委員会では、所管事務調査といたしまして、スポーツ振興について調査を進めております。

泊江市のスポーツ振興の現状を知るため、1月27日に泊江市民総合体育館において、「泊江市体育施設指定管理者」と「泊江市総合型スポーツ文化クラブ(通称泊○くらぶ)」の2つの団体から話を聞きました。

指定管理者からは、市民総合体育館におけるスポーツ振興の現状と課題について、

泊○くらぶからは、総合型地域スポーツクラブの現状と課題について話を聞き、施設の視察を行いました。

社会常任委員会報告

社会常任委員会では、所管事務調査として、商店街の活性化と介護予防関係について取り組んでいます。

商店街の活性化では、12商店街の視察・商店会会長からの説明を受けたり、商工会との懇談などをすすめてきました。

介護予防関係では4月18日、あいとびあセンターでの「健康セミナー」と「うんどう教室」を視察しました。

この日は雨模様だったので、「うんどう教室」は室内で行われました。10数人の方が集まり、講師の方と

楽しくコミュニケーションを交わしながら、熱心に健康体操をされていました。参加者の中には運動教室を続けることにより、実年齢よりも16歳も若くなった方がいらっしやいました。

私たちも参加させてもらいました。足首・膝・腰・肩・首の五つの関節を動かす基本の体操を体験し、足腰が軽くなりました。毎日続けることが大事とのことでした。

こうした健康づくり、介護予防が、さらに多くの市民のみなさんに広げられるようにしたいと思います。

建設環境常任委員会報告

建設環境常任委員会では、所管事務調査として、「ごみ半減と資源回収について」と「道路に関する集中豪雨、ゲリラ豪雨対策について」取り組んでいます。

昨年4月1日に、小型家電リサイクル法が施行されました。泊江市においても携帯電話やパソコン、デジタルカメラ、ゲーム機などさまざまな小型家電製品を回収し、その中に含まれるレアメタルなどのリサイクルを行います。

2月19日に現在、ひかり作業所において実証実験として行っている携帯電話の分解・分別作業の視察を行いました。今後

は、パソコンの分解作業等を行っている先進市への視察を予定しています。

ゲリラ豪雨対策では、4月16日に世田谷区と小金井市の視察を行いました。世田谷区では雨水を地下に浸透させたり、貯留する事でダムと同じ効果を持たせようとする「世田谷ダム構想」について、次に雨水浸透ますの設置事業を長年推進して来られ、「雨水浸透ます設置率日本一」と言われている小金井市では、その取り組みについて説明をいただきました。小金井市は多孔型雨水浸透ますの発祥地です。



「4月16日 建設環境常任委員会現地調査-世田谷ダム構想-」



「4月18日 社会常任委員会現地調査-うんどう教室-」